

未来のために必要な水

私は今まで水に関して深く考えたことがありませんでした。しかしこの水の作文を書くことがきっかけで水に関して考えるようになりました。例えば、今まで出さなければならなかった水について考えた事がなかったけど、今ではその出さなければならなかった水で手を洗ったり料理をする時などに使えるなど思うようになりました。

水は私の知らない所でたくさん使われています。例えば、病院や工場、畑、飲食店などで使われています。反対に、私の身近な所では、主に家などで使われています。そのみんなが使っている水はなぜ無くならないのでしょうか。それは水が地球を循環しているおかげだからです。今まで私は、雨が降っているから水が無くならないと思っていました。ですが、水が地球を循環している、日本は

生駒市立上中学校 二年

白井 七海

水不足が問題になっていきます。その原因は、水の循環に異変が起こっていると考えられています。その中には、生活の中でわたしたちがしている水の無駄使いも大きく関係しています。それについて私は水の無駄使いなど考えずに水を使っていました。このこと知って私は、水の無駄使いがこんなに大きく関係していることに驚きました。日本では、水道の蛇口をひねるだけで水が出て気軽に使うことができます。しかし、私たちはこの水を有効に使うことができず、水を汚し、無駄に流してしまっていることが多いようです。そこで、私たちは、水の循環をこわさないように水を汚さず、水の無駄使いをしてはいけません。私たちが、全国の水の使用量のグラフを見ても、生活が便利になることで水の使用量が増えていっているということが分かります。私

の家族はよくキャンプに行きます。その時は限られた水を使うことに不便さを実感します。キャンプでは、身近に水道がないので、いつものように蛇口をひねって水が出てくるということはありません。くんできたタンクから水を少しずつ出して、手を洗ったり、食器を洗ったりすることに使います。

私たちはさつき書いたとおり、水を有効に使うことができず汚れた水を流してしまっているのです。そのため、水の汚染を防ぐために使った水を捨てる時の水質基準や違反をとりしめる法律があります。しかし川や海、湖の汚染は止まらないのです。原因は、家庭から流される生活排水なのです。下水処理場では薬品を使って汚れをはずめたり、微生物の力で綺麗な水に戻しています。しかし、下水処理場には限度があり、下水道の設備がない地域もありそれぞれ規模が小さくとりしめる事が難しいのです。私は下水処理場がいつも水を綺麗にしてくれていることは知っていましたが、処理能力に限度があり水が完全に綺麗になつていなかったことは初めて知りました。そこで、私たちが暮らしの中で出来る

事はあるのかと思ひ、調べてみました。まずは、食べ物や物の汚れをきれいにふきとり残りは、ゴミ箱に捨て水に流さないようにする事です。次に、お風呂の残り湯を洗濯や掃除に使う事で水の節約になります。最後は洗濯や食器洗いを少ない洗剤で行うようにする事です。他にも私たちに出来る事はたくさんあるので、少しずつ意識して水の循環を壊さない様にしていきたいです。

私は普段、何も考えずに水を使ったり飲んだりしてしまいました。それに、水はすぐにあつて当たり前だと思つていました。でも、私たちがみんなが水の無駄使いを続けると、もしかしたら水が無くなるかもしれないのかなと思ひました。私たちが水の使い方を考え、水不足の問題が無くなるにはとても時間がかかるかもしれないけど、少しずつでもいいので意識していきたいです。